

警察庁によると、2022年に全国の警察が虐待の疑いで児童相談所に通告した児童数は11万5762人と前年比7・1%増で、18年連続で過去最多を更新しました。通告の内訳は、暴言を吐く等

の「心理的虐待」が73%（8

万4973人）で最多、このうち半数以上が子供の前で家族に暴力を振るう「面前DV」で、暴行などの「身体的虐待」は2万662人、「ネグレクト（育児放棄）」は9805人、「性的

児童虐待を防止しよう

虐待」は322人でした。摘発件数も前年比7件増の2181件で、過去最多です。身体的虐待の摘発が1718件で約8割を占め、被害児童は2214人に上り、うち37人が死亡しまし

た。加害者は実

父が最多の96

0人、実母は59

0人、養父や義父が405人でした。

虐待は家庭問題とされて潜在化しやすいですが、地域で見守り、早期に発見して防止し

ましょう。

防犯一口メモ